

科目名	応用自動車検査実習						年度	2026	
英語科目名	Applied automotive examination exercises						学期	後期	
学科・学年	一級自動車整備科 3年次	必/選	必	時間数	24	単位数	0	種別※	実習+実技
担当教員	坪裕光、大瀧昇利、村木亮治、丸岡慎、非常勤講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		一級自動車整備士		
【科目の目的】 実習車両を使用して、自動車検査員レベルの実践的整備技術の理解									
【科目の概要】 自動車検査員レベルの検査実習をします。									
【到達目標】 2年次に習得した法令の知識・技術を更に発展し、3年次講義科目での教科書知識の確認として、様々なメーカーの実習車に搭載されている灯火装置や制動装置などの保安部品の検査について、常に安全とチームワーク、主体性を意識して取り組むこと、また、4年次科目でもあるインターン実習に向けて、基本的な作業の反復を行うことなどを目標とする。									
【授業の注意点】 様々なメーカーの車両を通じて、保安部品である「かじ取り装置・制動装置・走行装置・緩衝装置・動力伝達装置・原動機・灯火装置」などの検査を各々が主体的に行動し、安全やチームワークを第一に考え、一級自動車整備士として常に最新技術を意識しながら理解出来るようになることを目指す。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	安全作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	安全作業について積極的に学び、理解することができる	安全作業について学び、理解することができる	安全作業について理解できない	安全作業について理解する姿勢がない				
到達目標 B	自動車検査機器について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車検査機器について積極的に学び、理解することができる	自動車検査機器について学び、理解することができる	自動車検査機器について理解できない	自動車検査機器について理解する姿勢がない				
到達目標 C	自動車検査機器取扱作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車検査機器取扱作業について積極的に学び、理解することができる	自動車検査機器取扱作業について学び、理解することができる	自動車検査機器取扱作業について理解できない	自動車検査機器取扱作業について理解する姿勢がない				
到達目標 D	自動車法定点検作業について積極的に学び、発展的な解釈ができる	自動車法定点検作業について積極的に学び、理解することができる	自動車法定点検作業について学び、理解することができる	自動車法定点検作業について理解できない	自動車法定点検作業について理解する姿勢がない				
到達目標 E									
【教科書】 適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験を総合的に評価（100%）									
演習のいずれかを記入。									

科目名		応用自動車検査実習			年度	2024
英語表記		Applied automotive examination exercises			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	検査制度	検査員、検査機器の配置と主な検査項目、同一性、検査について理解	1 検査員	制度の理解	2	
			2 検査機器	使用方法の理解		
			3 同一性確認	確認方法の理解		
2	検査機器	自動車の改造、検査機器を使った検査について理解	1 改造	改造の理解	2	
			2 保安基準適合	保安基準適合 の理解		
3	記録簿	点検記録簿、指定整備記録簿、各別表の理解	1 記録簿の記入	記入方法の理解	2	
			2 自動車適合別表	自動車種別の理解		
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等